

市長の政治姿勢

「コミュニティセンターと市長への手紙」

高橋 弘行
(発言と行動する会)

市民の人達がコミュニティセンターの使い方方で「市長への手紙」を書いたが、市民の声が届くか市長の考えをお聞きする。

問 市民の皆様が集い、利用していた机、椅子が突然1階から2階へ移動した。どのような理由か。

答 駐車場からの通路となっており、他の利用者から撤去してほしいとの意見が多数あったため、2階へ移動した。

問 1階へ戻せないか。

答 元に戻す予定はない。

問 駐車場が狭いので、現状の遊具を隅に移し、もう一列増やして欲しい。

答 バスターミナル駐車場を利用してほしい。

問 市民が直接市長と話すことを希望しているが、近口中に会ってくれるか。

答 本件は現地で担当者が丁寧に説明しているの理解してほしい。

答弁は市長にお願い

公共施設

学校の統合問題と公共施設の複合化

松本 安夫
(黎明21)

現状の児童生徒数、今後の減少を勘案し、通学区を見直せば、小学校6校、中学校3校で市内をカバーできないか。

答 具体的な数は、児童生徒数の将来推計に基づき検討する必要があるが将来的には大幅な削減が想定される。小中一貫校も含め、全ての可能性を排除せず方針を示したい。

問 統合は複式学級や小規模校を抱える深刻な問題等全てを解決できる手段である。見直しを早急に行う必要があるが、スケジュールは示せるか。

答 できるだけ早い時期に示したい。

問 学校の統合は、地域住民の合意を得ることが必要である。小学校6校、中学校3校に統合するというのは私見であるが、既存の学校ではなく、見直した通学区域の中心に学校を新設することで統合への理解が得られると考えるがどうか。

答 小学校6校、中学校3校が適切な数字かどうかは分からないが、長期的にはそれに近い数になつていくことは避けられないと考える。

問 本市の学校施設の延べ床面積は、公共施設の約5割である。より効率的な施設整備手法としての公共施設との複合化による整備を取り入れたらどうか。

答 学校施設に限らず、全ての公共施設を対象として、複合化や集約を行い、本市の実情に即した施設の再編を考えたい。

問 限られた財源、ライフサイクルコストを考えた場合複合化しかないが、市民サービスを低下させる事なく施設の総量削減を図ることができるとして複合化等は有効な手法と考えている。

市民本位

旧忍町信用組合店舗移築改修は必要か！

大久保 忠
(日本共産党)

市長は、市民の声を反映した市政運営をするとして述べているが、今回の移築改修の進め方は市民の声を聞かない、知らせない、計画だけは進めるというものだ。市政の基本姿勢として「市民」という大きな柱がもれていないか。

答 市政懇談会、市長への手紙などで寄せられた声を参考に施設の活用を図っていききたい。

問 何のための事業か、なぜ水城公園なのかなど反対する市民が多い中、なぜ急ぐのか。一度立ちどまり、市民の声を聞くべきではないか。

答 文化財を保存、活用し、地域の活性化を図っていききたい。

問 子育て支援として小さい子どもを2階に上げ遊ばせるとしているが非常に危険である。具体性もない。やめるべきでは。エレベーターの設置を考えている。階段は遮断し、安全を図る。

問 文化財としての価値を損なうことのないよう管理運用することある。カフェではアルコールは出すべきではないがどうか。

答 子育て支援という視点から言えばアルコールは考えられない。

問 国民健康保険広域化で国保税を引き上げるなどにより県が財政運営を担うことで国保税の徴収強化や大幅な引き上げなど市民負担の増額が考えられるがどうか。

答 国保税など市民負担の影響は、現時点ではわからない。

問 県の試算では、62%の増額となる。今でも高くて支払えない人が多い。引き下げをすべきではないか。

答 県が今後示す3回目の試算結果等により、精査していききたい。